

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスぐりと南城		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 20日		令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 20日		令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 20日		令和8年 2月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられている。	保護者、訪問先、事業所で児童の様子を聞き取りして情報共有を行ったうえで、児童にあった支援の提供を行っている。	今後も引き続き情報共有を行っていく。様々な専門職が在職しているので、互いに意見を出し合い、児童の支援をより一層向上できるような機会を作っていく。
2	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されている。	定期的にモニタリングを行いながら、状況に応じて保護者と面談などを行い情報収集したうえで、保育所等訪問支援計画に繋げていけるような支援を行っている。	今後も継続して支援を行っていきたい。
3	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がされている。	訪問した日に保護者に対して、訪問先での様子を伝えることを業務化している。	引き続き継続して報告を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族が参加できる研修や情報提供の機会の実施など	職員の情報不足のため、家族支援プログラムが行えなかった。保護者会の実施ができていない。	家族支援プログラムに対する研修会の参加や、職員間で情報共有を行い、家族支援プログラムの実施に向けていく。保護者会など保護者へ情報提供する場の確保を行う。
2	訪問先によっては助言を求められない場合もある	訪問先で助言ではなく、情報共有場を求められることが多く見られる。	職員間で児童の情報共有を行い、特性についての理解を深め、助言できるような体制を整えていく。
3	訪問支援に使用する教具教材を整えることが十分でない。	保護者へ「教具」「教材」を活用した支援を行うことあるとの説明が不十分であった。	保護者、訪問先と連携を取り合い、児童の特性にあった教具・教材を揃えていく。保護者に対して教具・教材の説明を行っていく。